

令和2年度 八代高等学校シラバス

教科	情報	科目	社会と情報	学年	1年	類型	
単位数	2	教科書	高等学校社会と情報（数研出版）				
副教材	使用しません						

学習目標	情報を適切に収集・処理・発信するための基礎的な知識と技能を習得するとともに、情報を主体的に活用し、情報化社会に積極的に参画できる態度を育成する。
------	--

学期	学習内容	学習の到達目標 (完全に理解すべき事項)	到達度自己評価		
			A	B	C
1 学 期	<ul style="list-style-type: none"> <li>情報とはなにか</li> <li>表現の工夫 (主にここではワープロソフトについて)</li> <li>情報社会の光と影</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>情報が持つ意味や働きについて理解できたか</li> <li>ワープロソフトの基礎・基本が身についたか</li> <li>多様な形態の情報を適切に収集・表現することができたか</li> <li>情報化社会（ネット社会）が及ぼす影響について理解できたか</li> </ul>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2 学 期	<ul style="list-style-type: none"> <li>デジタルの表現について</li> <li>表現の工夫 (主にここでは表計算ソフトについて)</li> <li>情報セキュリティについて</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>情報量の概念について理解できたか</li> <li>進数計算について理解できたか</li> <li>画像、音声、動画データのデジタルの概念について理解できたか</li> <li>表計算ソフトの基礎・基本が身についたか</li> <li>情報化社会の危険性を認識させるとともに、情報セキュリティに関する知識が身についたか</li> </ul>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3 学 期	<ul style="list-style-type: none"> <li>知的財産権について</li> <li>ネットワークとコミュニケーションについて</li> <li>情報、通信技術の発達について</li> <li>問題解決のプロセス、データの分析について</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>著作権など知的財産権を保護する理由を理解することができたか</li> <li>ネットワークがどのように形成され、プロトコルやIPアドレス、ドメイン等が理解できたか</li> <li>情報通信技術の発達やIoTの進歩により今後社会がどのように変化していくか意識することができたか</li> <li>目的に応じたデータ分析を行うことができたか・問題解決やその方法について関心を持ち、主体的に問題解決を図ろうとできたか</li> </ul>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

学習方法	パソコンを使った実習形態を主体としながら授業を展開していくが、それとともに座学での説明も随時行う。また情報モラルに関する部分も適宜説明を行う。
------	---

評価方法	各学期の成績は100点満点で評価する。ペーパーテストは各学期1回ずつ行い、ペーパーテストの評価の配分は6割～7割程度とする。その他提出物（作品・レポート）は3割程度とし、残りは授業への取り組み方・課題の提出状況などにあてる。学年成績は1学期から3学期までの評点を平均し、5段階で評価する。
------	--